

東京湾海況情報 R06-9

東京湾水質調査結果（令和6年12月）

（令和6年12月27日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 12/2 ふさなみ（内湾）、12/4 ふさみ丸（内房）、関東・東海海況速報

12月2日、4日にふさなみ、ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は、内湾で15～16℃、内房海域で17～21℃と、内湾、内房海域ともに最近10年間の平均値より高くなっていました。表層塩分は、内湾で29～32、内房海域で32～34と、平年値と同程度でした。12月2日頃から、沖合水（高水温・高塩分の水塊）が富津市竹岡付近まで進入する様子がみられました（図1～3、表1）。なお、今回、J7、St.31は欠測です。

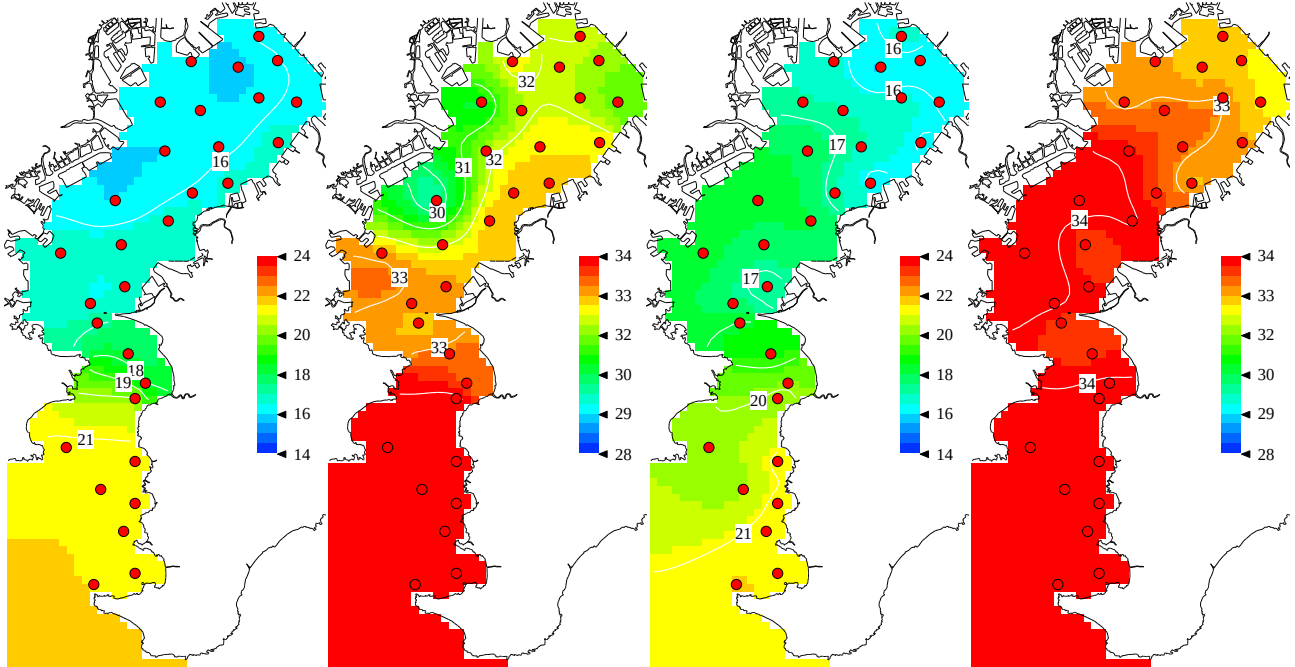
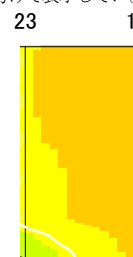
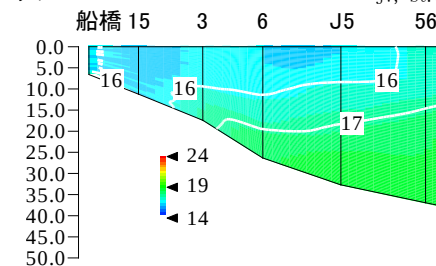


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温

J7、St. 31が欠測のため、縦断面図を分けて表示しています。



塩分

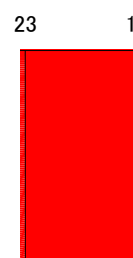
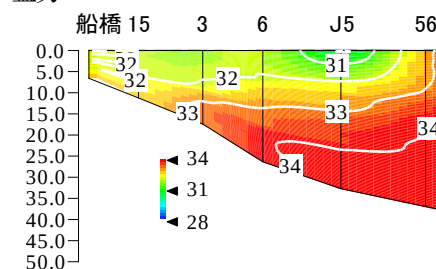


図3 縦断面の水温・塩分

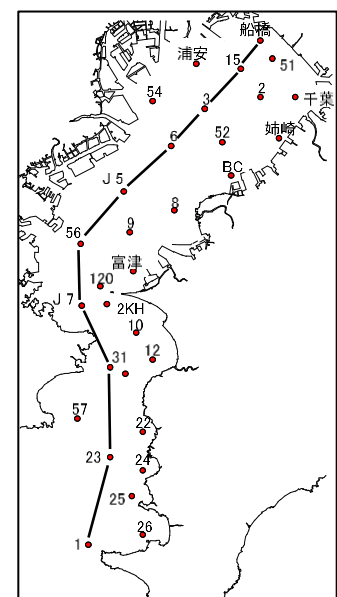


図4 水質調査点
（実線は調査ライン）

【赤潮】

透明度は、内湾で 4.0～8.5 m, 内房海域で 5.0～22.5 m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は、内湾で $5\mu\text{g/L}$ 以下～ $6\mu\text{g/L}$, 内房海域で $5\mu\text{g/L}$ 以下でした (図 6)。赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は、珪藻アクティノプティカス属等でした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150 % 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	$50\mu\text{g/L}$ 以上

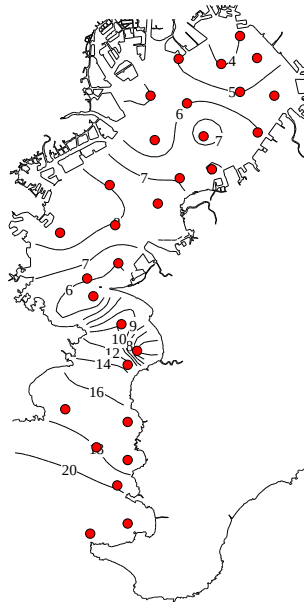


図 5 透明度

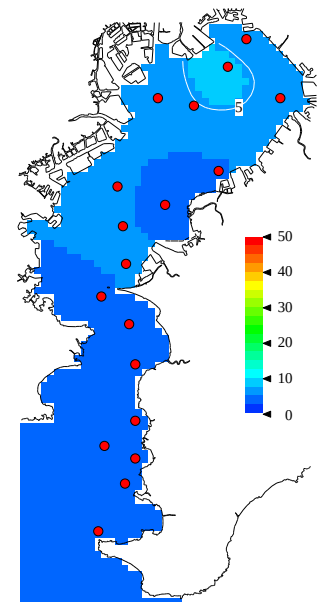


図 6 クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊はみられませんでした (図 7, 8)。

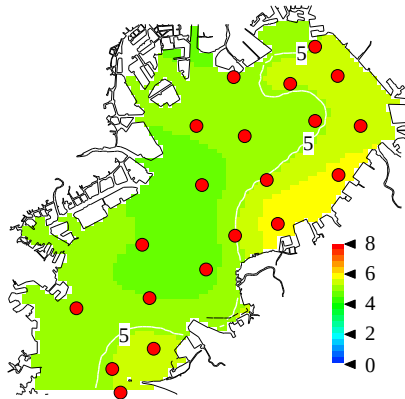


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

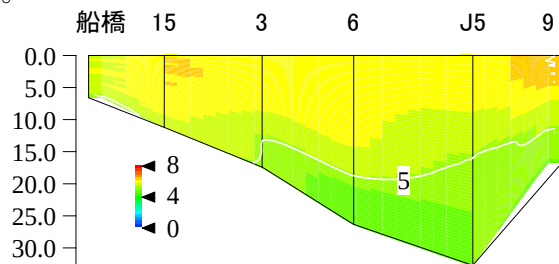


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

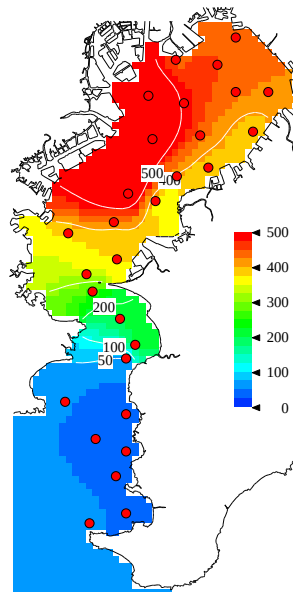
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50 % 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾で $339\mu\text{g/L}$ ～ $609\mu\text{g/L}$, 内房海域で $21\mu\text{g/L}$ ～ $238\mu\text{g/L}$ でした。表層のリン (DIP) は、内湾で $30\mu\text{g/L}$ ～ $49\mu\text{g/L}$, 内房海域で $5\mu\text{g/L}$ 以下～ $24\mu\text{g/L}$ でした (図 9)。

内湾及び内房海域では、窒素、リンともに最近 10 年間の平均値よりやや少ない状況でした (表 1)。

DIN



DIP

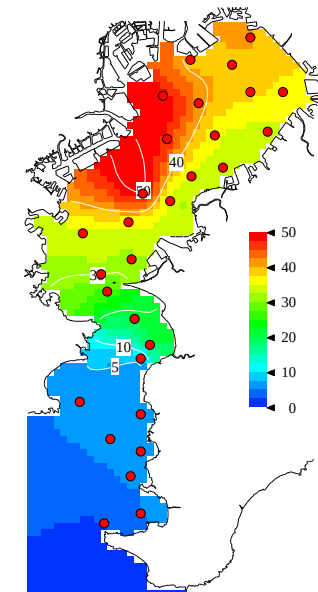


図 9 表層の栄養塩濃度 ($\mu\text{g/L}$)

【黒潮】

黒潮は A 型流路でした。黒潮は房総沖を接岸して流れており、内房海域へ暖水の波及がみられました（図 10）。

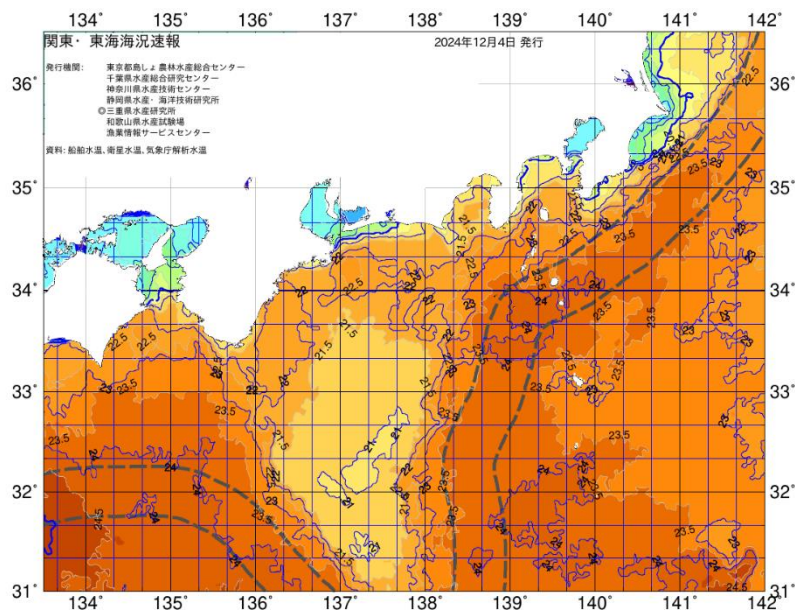


図 10 黒潮の動き（令和 6 年 12 月 4 日）

表 1 主な調査点の水質調査結果（表層，溶存酸素量のみ底層）
（ ）:最近10年間の平均値（2014～2023年）

調査点		水温 (℃)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	溶存無機態 窒素 (μg/L)	リン酸態 リン (μg/L)	クロロ フィルa (μg/L)	
内 湾	船 橋	16.0 (14.4)	32.0 (31.3)	4.0 (4.5)	8.2 (8.1)	4.8 (5.0)	67.0 (130.9)	432.7 (596.0)	39.6 (53.5)	3.9	
	st.15	15.3 (14.5)	31.9 (31.2)	4.0 (4.8)	8.2 (8.1)	5.2 (4.6)	50.4 (106.4)	449.9 (569.6)	39.2 (47.4)	6.0	
	st.3	15.7 (14.7)	31.8 (31.1)	6.0 (5.0)	8.2 (8.2)	5.0 (4.3)	56.4 (82.0)	495.8 (581.1)	41.8 (42.7)	4.7	
	st.6	15.6 (14.9)	31.8 (31.1)	5.3 (5.8)	8.2 (8.2)	4.3 (4.2)	66.7 (93.0)	569.7 (600.2)	45.7 (44.2)	2.8	
	st.9	16.3 (15.2)	31.9 (31.8)	8.0 (6.3)	8.3 (8.2)	4.5 (4.8)	31.4 (62.8)	429.5 (471.4)	36.4 (37.0)		
	st.BC (盤洲Cブイ)	16.2 (15.5)	32.5 (31.7)	5.8 (5.3)	8.3 (8.1)	5.7 (5.0)	32.0 (79.7)	382.0 (479.6)	33.4 (40.6)		2.2
	st.8 (盤洲A南)	16.2 (15.2)	32.6 (31.9)	7.5 (5.7)	8.3 (8.2)	4.3 (4.5)	25.6 (64.9)	370.0 (444.1)	32.9 (36.6)	2.0	
	富 津	16.1 (15.8)	32.8 (31.9)	6.0 (4.8)	8.2 (8.1)	5.1 (5.0)	37.3 (75.4)	367.2 (406.7)	31.1 (31.4)	3.1	
内 房 海 域	st.2KH (第2海下)	17.0 (16.3)	32.6 (33.0)	5.0 (5.7)	2.1	5.1 (5.0)	10.1 (31.0)	238.6 (278.9)	24.4 (26.4)	1.8	
	st.31										
	st.23	21.3 (18.9)	34.4 (34.3)	18.0 (16.2)		4.7 (4.9)	1.2 (7.0)	23.2 (77.6)	3.2 (8.6)	0.5	
	st.1	21.4 (19.3)	34.4 (34.4)	22.5 (16.5)		4.7 (4.7)	5.5 (11.4)	32.0 (71.6)	0.0 (5.8)	0.5	
	st.10 (下洲沖)	17.7 (16.5)	33.1 (33.2)	10.0 (7.2)		5.2 (5.1)	4.6 (21.6)	189.1 (245.3)	19.2 (23.4)	2.1	
	st.12 (湊沖)	18.1 (16.4)	33.2 (33.3)	6.0 (6.5)		5.0 (5.2)	5.1 (15.8)	176.7 (222.7)	17.3 (21.1)	0.5	
	st.22 (保田沖)	21.2 (18.6)	34.3 (34.1)	16.0 (14.5)		4.9 (4.9)	1.3 (4.5)	21.0 (79.2)	2.9 (9.0)		
	st.24 (富山沖)	21.3 (18.9)	34.3 (34.3)	16.0 (15.1)		4.8 (5.0)	1.5 (3.8)	22.8 (67.6)	3.0 (7.8)		0.8
	st.26 (館山湾内)	21.2 (19.1)	34.4 (34.0)	21.0 (15.5)		4.7 (5.1)	1.8 (7.9)	21.5 (63.8)	2.7 (6.8)	2.7	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。